

令和 2 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告書

（令和 3 年 3 月）

報告者氏名・所属	齋藤 征人（函館校・准教授）	
研究プロジェクトの名称	地域課題の解決に向けたソーシャルクリニック・モデルの汎用化に関する応用的研究	
プロジェクト担当者 （氏名・所属・職） ※代表者に●を付すこと	● 齋藤 征人（函館校・准教授） 古地 順一郎（函館校・准教授） 森谷 康文（函館校・准教授） 佐藤 香織（函館校・准教授）	
研究プロジェクトの概要等（期間全体）		
<p>本研究は、地域課題の解決に向けた大学と地域との協働体制としてのソーシャルクリニック・モデルを汎用化し、道南のさまざまな地域への応用によって、大学の知的・人的資源と地域住民による有機的コラボレーションが地域の課題を解決・低減し得るかについて、実証的に研究することを目的とする。中期計画では、15「学科においては、ステークホルダーの意見を取り入れる仕組みを作り、地域に貢献する人材養成プログラムの開発を行う。また、地域や文化価値に関する現代的・学際的探求を進め、研究成果を地域の様々な課題解決に活用し、地域の国際化や芸術・スポーツ文化による「生き甲斐・健康・まちづくり」等地域の活性化及び振興に寄与する」に対応する。なかでも特に「ステークホルダーの意見を取り入れる仕組みを作る」ことに直接寄与し、ひいては「地域に貢献する人材養成プログラムの開発」や「地域の活性化及び振興」につなげたいと企図するものである。</p>		
進捗度	2	←番号を記入 1.順調に進んでいる 2.ほぼ順調に進んでいる 3.やや遅れ気味 4.遅れ気味 （進捗度が3もしくは4の場合、その理由や問題点等を記入願います。）
研究実績の概要（今年度）		
<p>1. 巡回型サテライト・オフィス開催に向けた打合せの実施（会場）</p> <p>9/7（月）10:00～11:00 渡島総合振興局（同） 9/7（月）14:00～15:00 松前町役場（同） 9/9（水）13:30～14:30 上ノ国町役場（同） 10/5（月）10:30～11:30 檜山振興局（同） 10/8（木）10:00～11:00 奥尻町役場①（オンライン開催） 11/13（金）16:20～17:50 森町（学内地域協働推進センター） 11/4（金）14:00～15:00 鹿部町役場（オンライン開催） 12/2（水）14:00～15:00 奥尻町役場②（オンライン開催）</p> <p>2. 巡回型サテライト・オフィスの開催・蓄積（会場）</p> <p>9月18日（金）14:00～16:00 渡島総合振興局（同） 9月28日（月）14:00～16:00 上ノ国町（上ノ国町役場） 9月30日（水）14:00～16:00 松前町（松前町役場） 11月30日（月）【書面会議】 檜山振興局 12月7日（月）14:00～16:00 森町（オンライン開催） 12月18日（金）14:30～16:30 奥尻町（オンライン開催）</p>		

12月23日（水）14:00～16:00 鹿部町（オンライン開催）	
3. 常設型ソーシャルクリニックの開催・蓄積（会場）	
7/16（木）14:40～16:10 長万部町（オンライン開催）	
10/1（木）13:30～15:30 北海道庁建設部及び総務部（学内地域協働推進センター）	
11/20（金）9:00～10:30 長万部町（学内地域協働推進センター）	
以上	
教育現場や地域で活用可能な成果等	
<p>本研究による巡回型サテライト・オフィスで得られた知見は、近年小中高校等で試みられている各種の課題探求型学習等にも応用可能であるほか、同行している学生たちにとっても、日頃の大学において地域と密着して研究しているゼミ活動や地域プロジェクト、地域づくり支援実習等における学びを発表し、多様な助言や示唆を直接もらえる機会となっている。とりわけ、奥尻町との意見交換時には奥尻高校の生徒2名が参加、本学側からは観光学の教員が同席し、地元の教育現場に対して専門的な知見からのアドバイスができた。</p> <p>また今年度は、附属函館中学校の教員（校長、副校長、研究部長）の同行も開始し、大学と附属学校との連携による各種の取組について、地域の教育現場への活用を促しながら、教員養成に資する函館校国際地域学科の周知・理解を図っている。</p> <p>今後共、巡回型サテライト・オフィスで得られたニーズから、地域プロジェクトや地域づくり支援実習等の授業や研究活動が活性することで、地域協働の取り組みを推し進め、地域の活性化及び振興につなげていきたい。</p>	
研究成果の公表実績（今年度）	
<p>【著書】</p> <p>古地順一郎・齋藤征人「大学は地域をエンパワーできるのか？～ソーシャルクリニックの実践と課題～」北海道教育大学函館校国際地域研究編集委員会編『国際地域研究Ⅲ』大学教育出版、2021年4月発行予定</p>	
<p>【学術論文】（投稿中も含む）</p> <p>齋藤征人・金 鉉善・根本直樹「まちづくりカフェで考えた大学の役割」北海道教育大学紀要 第71巻第1号、2020年、79-92.</p>	
<p>【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】</p> <p>なし</p>	
<p>【テキスト、報告書、研修資料等】</p> <p>なし</p>	
添付資料	<p>1. パンフレット兼当日プログラム「ソーシャルクリニック 巡回型サテライト・オフィス事業 ご案内」</p> <p>2. 新聞記事</p> <p>①「江差のまちづくりカフェ」北海道新聞 令和2年4月6日</p> <p>②「マチの課題オンラインで」北海道新聞（夕） 令和2年9月4日</p> <p>③「道南の課題 解決策模索」北海道新聞 令和2年9月19日</p> <p>④「奥尻高生徒と意見交換」函館新聞 令和2年12月31日</p> <p>⑤「高齢者生活支援で意見交換」函館新聞 令和3年2月17日</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
ダウンロード可能なドキュメント	<p>北海道教育大学学函館校地域協働シーズ集<2020年度版></p> <p>https://www.hokkyodai.ac.jp/files/00007800/00007810/20201203165631.pdf</p>

関連URL	ソーシャルクリニック（SC）：巡回型サテライト・オフィス事業 https://www.hokkyodai.ac.jp/hak/general/SCSOR2.html
問い合わせ先	氏 名：齋藤征人 電 話：0138-44-4310（直通） E-mail：saito.masato@h.hokkyodai.ac.jp